

晩抽ジュリアス

〈試作名 SB5026〉

Banchu Julius

極晩抽性、
5~7月まきで生育良好。
葉は濃緑色で株張りのよい
豊産多収種。

●青果用のほか加工用の
栽培にも最適。



特性

- 生育はジュリアス並みで、長日・高温の条件で生育よく、抽苔はジュリアスより安定して遅い。
- 草姿は半立性であるが、ジュリアスよりも葉柄が立ち、葉の垂れが少ない。
- 葉はジュリアスに似ているが、葉幅がやや広く、大葉で、葉肉は厚く、欠刻はない。葉は濃緑色で株張りのよい豊産多収種。
- べと病レース1、2、3抵抗性で、品質がよく、市場性抜群。
- 播種適期は北海道の青果用は5~7月まき、加工用は5~6月まき。東北・高冷地の青果用は5月下旬~6月まきに最適。

晩抽ジュリアスの栽培時期

地域	作型	月										
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
北海道 東北 高冷地	露地・雨よけ 春夏まき (5~6月まき)				●	■	■					
	夏まき (7月まき)					●	■	■				
	露地・加工用 春夏まき (5~6月まき)				●	■	■	■				

●.....● 播種期 ——— 生育期 ■ 収穫期